廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

第一線將士の陣中正月
征途垢芥のなかにもたゞ一抹の清々しさ
唐家屯にて 藤井特派員發

營口を出發してより大晦日の午後三時まで征途四十五里の埃にまみれた我が〇師團は溝帮子南方二里の地唐家屯に到着した、旅團司令部は同地に、師團司令部は一つ手前の甜水井子に宿泊した、溝帮子にはすでに廿九聯隊が入城してゐるので我等は此地の小村落に**昭和七年の元旦を迎へることゝなつた、ほこりにまみれた顔と手足が蠟燭の下に黒々と照らされてゐる、**狹い土間に身體を横にせばめて寢た、**明くれば昭和七年**である、兵馬倥偬垢にまみれたりとはいへ正月の氣持だけは何となく清々しい、しかも溝帮子にはすでに奉天からの〇〇師團も入城してゐる、我等は**これから錦州への希望に輝いて初春の太陽は曠野の彼方東天を眞つ紅に染めた、**汚い唐家屯の百姓家に正月を迎へた天野旅團長をもさに新年の賀辭を述べに行けば旅團長は大機嫌で「僕はこれで三度目の陣中の正月だが鯛の刺身を食つたのは初めてだ」と相好を崩した、聞けば炊事夫が特に旅團長のためにと營口出發以來今日まで鯛二百目を後生大事に秘藏して來たのださうだ

陣中における正月の最初は日露役の時で僕は少尉だつたが遼陽の北方十里程の所であつた、その時は閑暇があつたので部屋も綺麗にしてあつた、二度目はシベリヤ出兵の時チタで迎へたがこれも大きな旅館だつた、三度目の出處は一番ひどいが**その代り鯛の刺身は初めてだよ」**

と天野旅團長は餘程この鯛がお氣に召したやうであつた、唐家屯、甜水井子兩部落において新春を迎へた營口線からのわが〇〇旅團は元旦朝八時半溝帮子入城に先立ち卅聯隊だけ甜水井子村落内廣場に集まり宮城遙拜式を行つた、總ばかりになつた聯隊旗を前に聯隊全員、大行李、小行李廣場を埋めその壯觀は邊を威壓したが坪井聯隊長の號令にてラッパ吹奏裡に一同捧げ銃を行ひ東方を拜し大日本皇室の萬歳を三唱したが劍光旭日に燦めいて恰も我軍の赫々たる前途を物語るが如くであつた

溝帮子に迫るわが騎兵隊
＝北寧線に沿ふて南下＝
（西村特派員撮影）

遙かに皇居を拜して休む暇なく前進前進
溝帮子にて 島田特派員發

溝帮子における嘉村旅團宿營の一夜は明けた御稜威四海に輝きわたる光輝ある昭和七年一月元旦だ驛よりはるかに東をのぞめば**廣漠として果なき遼西平原のかなたに一抹の朱雲漂ふと見る間に大日輪は金光燦然として今や地平線を離れんとしてゐる**驛頭にひるがへる日章旗も立哨する我が兵士もいづれも**朝の陽をあびて麗しく輝いてゐる**午前八時我が嘉村旅團並に營口より昨夜中に入城した〇〇野砲隊の將士は驛プラットホームを中心に**各部隊毎に東を向いて整列はるかに大君います皇居を拜し天皇陛下の萬歳を三唱**した、滿洲高原に向へる感激の新年だプラットホームに立つて同じく東を拜し感慨深げな嘉村旅團長に記者が新年の挨拶を述べるとおめでたう**お互ひに今年も奮闘しよう、**母國の人々も我々の爲に雜煮の膳をそなへ乍ら緊張した正月を迎へてゐる事だらう、國民の期待にそむかぬ樣大いに奮闘するよと謹嚴な顏をニッコリ崩す「おとそはないがぞうにはある筈だウンと食ひ給へ」と又ニッコリだ匪賊掃蕩の任務を帶びた皇軍は正月も休養がされない更に南下の行軍を續けて行くのだ

榊と餅とを兩翼に新年を迎へた飛機
大石橋にて 白石特派員發

元旦早々匪賊が襲撃すると脅かされた大石橋も流石匪賊もわが軍の威力の前には手も出せずたゞ一片の杞憂に過ぎなかつたものとして朗かに明けた元旦の朝は澄切つた空にわが〇〇飛行隊の偵察機戰鬪機がプロペラの音も勇ましく大石橋の空を縱橫に飛び廻つてわが空の勇士のあざやかな元旦の初乘りに

市民 も戸外に飛び出して小旗を打ち振りながらこれに答へ空陸共には聞こえねど「明けましておめでたう」の交換だ、一方飛行場では午前八時二十分より隊員一同は飛行場に集まり宮城を遙拜し兩陛下の萬歳を三唱し、岡田大尉の賀詞、中隊長本田少佐の祝辭など形ばかりの新年祝賀式を行つた後偵察機は元旦早々にも拘らず錦州方面の敵狀視察にと飛び出す、この一兩日來兵匪續々錦州方面に退却とわが戰鬪隊の

勇士 たちには面白くもない情報ばかりで今日は一つ初獲物はないかと朝がた出かけた偵察機の歸來を腕を撫して待ちあぐんでゐるが、午後三時歸來した情報によれば矢張敵は續々後退に「何だ弱い奴等だなア」と何れも落膽、この事變以來忠勇なる勇士を乘せて北滿一帶を縱橫にかけめぐつて空軍の威力を充分に發揮したわが忠愛なる飛行機にも大石橋時局委員會より贈られたる

榊と 餅を兩翼に結びつけて新年を迎へこれを手入れする兵士達も元旦早々周水子より金州方面に威嚇飛行に赴き途中故障のため不時大石橋飛行場に飛來し着陸した重爆撃機この空の怪物を見んものとつめかけた市民たちの中に正月で着飾つた娘さんたちをみて「おい、色のよいところが見えてるぜ」と翼の上から娘さんたちの品定め、この兵隊さんたちお菓子の慰問よりこの娘さんたちの慰問の方が餘程よいらしい、敵兵退却で戰鬪機

出動 及ばずで今日は正月だ、大いに祝杯をあげようと何れもはち切れるやうな元氣である

けふ午後錦州に入城か
主力は明日入城せん

錦州方面に向つた我軍前進隊は大凌河を經て午後三時錦州に入城する豫定である、主力は三日早朝隊伍を整へ錦州に入城して治安維持の任に就くことゝなつた【奉天電話】

錦州軍撤退目的は張學良の狡猾手段
なほ遼西の地を狙ふ

【東京三十一日發】錦州軍の一部撤退開始說に關し陸軍當局では三十一日午後左の如く語つた

張學良は自發的に撤退を命じなくても該方面の支那軍は精強無比なる皇軍の進擊により鎧袖一觸自滅の運命のもとに置かれてあつた否旣に一部は算を亂して敗走しつゝあつたのである、張學良は列國が何故か錦州方面に關心を有し特に某國公使駐在武官等が陰陽交々支援を與ふるを利用し且つ國民學生運動の興奮を緩和するため錦州を死守し對日決戰を豪語し自己保全を策しつゝあつたものゝ遼西方面の情勢甚だしく不利にして結局撤退を餘儀なくせらるゝ事を自覺したのでその場合に處するため諸所に便衣隊、別働隊等を發置し我軍の後方擾亂を爲さしめ且つ捲土重來の際の據點たらしむべき命令を下してゐた、而して蔣介石の下野後、全支部における反張運動は急速度を以て進展し來りたるに鑑み、之に對應する爲にも敗北確實なる戰鬪を避け兵力を保持するの必要起りつゝあつた茲において錦州軍の一部を關内に撤退し之により支那側の無抵抗主義を大々的に中外に宣傳し國際方面の發動を促し以つて日本の進擊に掣肘を加へ他力に依り錦州問題を有利に解決せんとする一石二鳥の方法を採用するに至つた事は想像するに難くない、卽ち撤退は一種の方便であつて機に乘じ遼西の地を回復し再び此處を根據として對日抗爭を持續するの意志は決して棄てゝはゐないのである、故に錦州軍撤退は學良一流の無誠意も甚だしき狡猾も極まれる政治的陰謀であると判斷し得るのである

錦州軍の下級將士反中央宣言を發表

【北平一日發】錦州下級軍人は今朝の北平申報（學良の機關紙）に長文の聯合宣言を發し中央よりの無援助を攻め露骨に反中央態度を表現したが大要左の如し

我軍は日本軍のため三方より包圍され旣に多数の戰友が戰線に屍を曝せるも中央政府は一枚の電文を以て東北を死守せよと稱するのみで實力援助をなさず拱手傍觀の態度を執つてゐる、これでは我等は勝てる道理はない、かゝる無誠意なる中央政府の命令に從はゞ國家と民族は東亞の恥辱を重ねるのみである、只彼等は官職の任命分配に狂奔せるのみで東北前線の將卒に一言の援助もなさずして漫然と錦州を死守せよと電命し我等を犧牲にして顧みぬのは不都合千萬だ

溝帮子の一番乘り
嘉村旅團に從軍して
溝帮子にて卅一日 島田特派員發

卅日打虎山に入つた遼西匪賊討伐の最先鋒たる我嘉村〇〇旅團は三十一日更に北寧線を南下して匪賊妄動の策源地たる溝帮子に進むことゝなり午前六時半裝甲列車を先頭に北寧線の

南下 を開始した、これより先我飛行隊の偵察した情報によれば旣に匪賊は溝帮子を捨て逃走し

二百乃至三百の勢力を有した匪賊の敵團が沿線近くの部落に潜んでゐるとのことであつたので我軍は途中裝甲列車より威嚇射撃を加へつゝ前進した、橋梁といふ橋梁は破壞されてゐたので我軍は常に工兵を活躍せしめたが旣に張家屯の橋梁には貨車二輛を以て妨害がしてあつた爲に徒歩行軍をなすことゝなり石橋工兵大尉の指揮する工兵一個中隊先頭となり散兵して溝帮子の東西兩入口より進み午後一時四十五分完全に溝帮子驛を占據し日章旗を翻へした記者（島田特派員）は石橋大尉に從ひ西方入口より一番乘りをなしたのであつたが旣に敵の一兵すら見出すことも出來なかつた、驛は匪賊によつて放火されたため

皇軍 が到着した時は盛んに燃えつゝあつたが陸橋に掲げられた日章旗は渦巻く黑煙にあふられて飄飄と翻へつてゐた、石橋中隊と殆ど同時に營口發の若松騎兵大隊が溝帮子に入つたが兩隊長は紅蓮の焰を上げて燃え擴がる驛舍の前で感激に滿ちた固い握手を交したのであつた、午後二時すぎ石橋、若松兩隊長より情況の報告を受けたが午後三時我嘉村旅團は全軍溝帮子に入つた

各國武官北平に歸任

【天津一日發】錦州滯在中の英米佛伊各國武官は昨夜九時同地發北平に歸任した

錦州軍の死者

【北平二日發】支那側の調査によれば盤山の戰鬪における支那軍の死者六百五十八、負傷六百四十二であると

（蛇 1932 年）

元旦の大連市民、忠靈塔前に集中、遙かに皇居を拜して帝國萬歳を三唱す。

◇老少男女を合した全市民の君が代合唱、日本嘯の寒天に冲して意氣壯烈。

◇皇國前途の祝福、皇軍に對する感謝、新滿蒙建設の希望、皆熱誠溢る、君が代と萬歳の裡にあり。

◇年が暮れても明けても皇軍の活動は一と續き、錦州入城の一段落まで息つく遑もない。

◇匪賊、馬賊、暴戾者獨立を宣言す、段々大勢に見込をつけた。

東亞の謎（164）
國枝史郎
挿畫 伊藤順三

黃帮の巢窟（四）

可成り長く歩かせられた。

やがて目隱しを取り去られた。

眼の開いた伯に見えたものは、廣い石室のやうな部屋であつた。三十疊敷ぐらゐもあるであらうか正面に穹窿形の出入口があり、その向ふは狹い空地で、空地の向ふに穹窿形の、同じやうな出入口があり、それはこの部屋と並んで出來てゐる、もう一つの石室の出入口らしかつた。その出入口のズーッと向ふに、同じやうな穹窿形の出入口があつた。その部屋の反對側の出入口らしく、その向ふに闇があり、その闇は狹い空地らしかつた。さうして更に一層小さい、同じやうな穹窿形の出入口が極めてぼんやりと見えてゐた。それもこの部屋と同じやうな、石室の出入口であるらしかつた。

で、三つの同じやうな壁の、同じやうな大きさの石室のやうな建物が、連鎖的に出來てゐるらしかつた。

この部屋は殆ど無裝飾で、たゞ幾個かのテーブルや椅子や、毛皮をかけた長椅子や寢臺が、無雜作に置かれてあるばかりであつた。

昔は碧城の本丸あたりの重要な部屋であつたかもしれない――と云つたやうな俤はあつた。壁も柱も天井も床も、奇石と珍木とで出來てゐるのであるから。

長椅子の一つに腰かけて、武村と後三が煙草を喫つてゐた。

その横に二人の蒙古人が、舊式の鐵砲を構へながら、兇暴な表情をして控へてゐた。

「伯爵、ようこそ、おかけなさいまし」

揶揄するやうに武村は云つた。

すつかり覺悟つた態度であつた

「伯爵、今度は私の方が勝た」

「さやう」

と伯は苦笑ひした。

「君の方が勝たやうだね」

「萬事世の中のことこんなものですな」

「さやうさ、どうも然うらしい」

「殆ど二時間とは經たない中に、主客顚倒するんですからなあ」

「主客顚倒したらしいね」

「生殺與奪、僕のまゝでさあ」

「先刻までの僕とそつくりだね」

「アッハヽ、まさに然うで」

「ところで此處は何ういふ所かね？」

「蒙古に於ける黃帮の巢窟で」

「………」

「帽兒營といふ所です」

「………」

「頭目の名は巴林と云ひます」

「………」

「さうして私の友人です」

「………」

「さて隨分私と貴郎とは、これ迄攻めつ攻められつしました。が、さう／＼大詰が來ました。清算してもよささうですな……伯爵、絕對に逃げられませんよ。此處へ來た以上は逃げられませんよ。此處へ來た以上は逃げられませんよ…で、萬事私の方が、歩が可いといふことになります……歩の可い時には歩の可い條件を出す。こりやア外交の常識でさあ……さて、どんな條件を出しませうかなあ」

武村は二本目の煙草へ火をつけそれを喫ゐ／＼ニヤ／＼笑つた。

「小夜子、ありやア私が貰ひます、さうして今夜、ナーニ直に、綺麗に退治することにします……さ、こいつは當然な話で、條件でも何んでもありやアしない……うん、一つ、訊くことがある。伯爵、命が欲しいですかな？……もし命が欲しければですな、こゝの頭目へ貢物を出すんで」

宮中新年の御儀
元朝四方拜と歳旦祭
拜賀式に兩陛下正殿に出御

【東京一日發】天皇陛下には元日早朝午前五時半といふに黃櫨染御袍を召され九條掌典長前行一木宮相林式部長官等供奉神嘉殿の南庭に設けられた屋に出御四方拜の御儀を行はせられ畏くも國家の安穩、萬民の多幸を御祈願あらせられて神宮、山陵を初め四方の天神地祇を御遙拜引續き賢所、皇靈殿、神殿に出御歳旦祭の儀に御拜遊ばされ、午前八時晴れの御膳に着かせられたる後午前十時から皇后陛下と御揃ひで正殿に出御群臣の拜賀を受けさせられた、天皇陛下には陸軍大元帥の御正裝に大勳位菊花章頸飾その他の勳章御佩用いと晴れやかな御英姿皇后陛下にはモント・ド・クールをきらびやかに裝はれ學習院から選ばれた紅顏の公達御裳を捧じて午前十時先づ鳳凰の間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃、閑院宮各殿下をはじめ各皇族殿下に御對面年頭の御祝詞を受けさせられて後林式部長官、一木宮相前行、鈴木侍從長、奈良武官長、河井皇后宮大夫以下侍從、武官、女官供奉、各皇族方扈從正殿に出御中央一段高き玉座、御座に着かせられた、かくて何れも大禮服又は正裝に威儀を正して參内の東鄕、山本兩大勳位、犬養首相以下各國務大臣、倉富、平沼正副議長以下樞密顧問官前官禮遇、陸海軍大將、親任官、貴衆兩院議長、公爵以下勳一等以上、同夫人並に勳一等外國人、同夫人の拜賀を受けさせられ次いで同十一時よりは高等官一等以下勅任待遇以上同夫人、神佛各宗派管長、勅任扱麗外國人同夫人、宮内奏任官同待遇の拜賀をお受けあり一旦入御更に午後一時三十分再び正殿に出御白國大使バッソムピエール氏はじめ各國大公使同夫人の拜賀を御受けの上入御遊ばされた

宮中拜賀第二日

【東京二日發】天皇、皇后兩陛下には二日も午前八時晴れの御膳の後同十時から正殿に出御、伯爵、從二位、勳二等以下從四位並に同夫人及勳二、三等外國人同夫人の拜賀を受けさせられ引續き同十一時からは貴衆兩院議員はじめ高等官、從六位以上並に奏任待遇の神職、門跡寺院の住職、准奏任麗外國人、勳四五、六等外國人の拜賀を受けさせられ更に午後一時から同四時迄の間正七位以下從八位以上功六、七級勳七、八等並に奏任待遇の參賀を受けさせられた

滿蒙の天地に輝やく
聖代昭和の第七春！
希望と緊張の色漲ぎる市中

滿州子占據と錦州攻略で明けた昭和七年元旦、暁つげる鷄鳴、天候に惠まれた上に引切りなしに入る戰報はいづれも皇軍の威武を語る戰捷の報だ、新しき年を迎へる市中は全く潔掃されて新しき裝ひと新しき希望と新しき祝福に滿たされ行人の足どりも惡ひなしか新春らしくいと輕やかだその和やかなうちに一脈の緊張した空氣が流れてゐるのを見逃せない新しきもの、建設に努力しわが滿蒙における權益擁護のため敢然として奮戰する勇猛なる駐滿軍隊と步調を合せ滿洲の大地を踏みしめて立ち大連神社忠靈塔に初詣での人々朝來ひつきりなくいづれも皇軍の勝利の新願に赤誠を披瀝した、かくて意義ある昭和七年の元旦は希望に燃え緊張の新春を迎へた

意義深き忠靈塔に
市民の新年祝賀式
國運の隆盛を祈願し
萬歲の聲天地に響く

兵馬倥偬の裡に明けた昭和七年一月元旦の大連市民新年祝賀式は陣中迎年の皇軍將士と滿蒙理想國建設の門出に鑑み時局柄最も意義深い中央公園忠靈塔前に於て擧行された、朝來春光燦々微風だになく式場には早くも辛島民政署長、小川市長、山西滿鐵理事、岩井在鄕軍人聯合會長、森本地方法院長、大内市會議長を始め各市會議員、區長、各中等學校生徒、在鄕軍人、靑年團、修養團、靑年聯盟その他市民續々押し寄せその數約二萬、さしもの大廣場も參會者で埋められた、この時周水子飛行場から一臺の飛行機が爆音勇ましく飛來し一碧の天空に大圓を描きながら祝賀飛行をなし悠々歸還すると定刻午前十一時半三發の煙火を合圖にいよいよ開式「君ケ代」を二唱し小川市長は遙か宮城に向つて禮拜した後、

滿蒙理想國建設第一年の目出度き新年元旦に於て意義深きこの忠靈塔に全市民參集しわが皇室の彌榮えと國運の隆昌を祈願すべく大連全市民の新年祝賀會を擧行するを最も欣快とする、われわれ全市民、全在滿同胞、全國民は今や協力一致し國難を打開して國家百年の大計に善處し以て人類最高の福祉を招來せねばならぬ

と祝賀の辭を述べ辛島民政署長の發聲で大日本帝國萬歲を三唱し極めて盛大裡に閉式した、なほ民政署、遞信局、地方法院、各警察署、學校、市役所、滿鐵會社でも午前九時より十一時までの間にそれぞれ拜賀式を擧行した

兵匪討伐を請願し
奉天省城民衆の大デモ
關東軍司令部に請願書を提出

奉天省城民衆全體の討匪運動大會は奉天省政府自治指導部、市政公所、奉天省城商工農各團體主催の下に一日午前八時から擧行された、かねて「打倒錦州政府」「掃蕩亂心兵匪」のスローガンを記した小旗宣傳ビラ等を手にし討匪を望み奉天市政公會前に集ひ來るもの各法團約二千名に達し午前八時それぞれ隊伍を整へ午前十時樂隊を先頭に徒步隊と自動車隊に分れ支那獨特の太鼓、ドラ等の樂器を鳴らし勇ましく出發し四平街小西邊門等を經て商埠地に出で各國領事館區域を過ぎ浪速通りから軍司令部前に到り左の如く匪賊討伐に關する請願書を本庄軍司令官に提出し更に富士町を南行し千代田通り出で商埠地大馬路、南市場、大西門、省政府前等を經て大會前に歸着、午後一時頃解散した、その他行進中多數宣傳ビラを撒布し又演說隊は要所々々で簡單なる打倒錦州政府の演說をなすなど大いに氣勢を擧げ意義あらしめた【奉天電話】

討匪嘆願書

陳者學良の暴虐は神人共に憤る處今日に至りて遂に新政權成立せり然るに學良の狼心は尚未だ滅せず匪兵を操縱し便衣隊を使用して治安を亂す又遼西に兵を擁し錦州に政府を設立し虎視眈々東北の治安破壞を企圖すその證據明にして商民の怨み骨髓に徹す貴軍は正義により邪惡を驅逐し省民今日あるを得たるも若し兵匪の禍一日も除かれざれば又一日の安居を得がたし將に討伐すべきは遼西の匪兵にして之により山海關以東の樂土を築くを得べし正義人道の義勇軍奮鬪の努力は茲において始めて酬いらるゝならん茲に東北三千萬民衆を代表し伏して冀ふ次第なり願はくは即日兵を進め討伐せられんことを

奉天民衆全體

日滿交驩の放送成功
年頭を飾る

昭和七年の劈頭を飾つた日滿交換放送は豫期以上の大成功を收め東洋平和の曙光に輝きたる電波は日本海の碧波をへだて、日滿の同胞に呼び交され昭和七年の元旦を價値あらしめた、而してこの大成功の裏面には瀬田工兵少佐以下技術員の涙ぐましい獻身的努力があつたが、關東軍司令官に對する感謝並に激勵の辭は内地より明瞭に聽取された【奉天電話】

初入港船
ばいかる丸のサロン賑ふ

内地定期船昭和七年の初入港船ばいかる丸は麗かに晴れて波靜かな二日午前十時三十分松飾りもすがすがしく入港した、乘客は正月らしく名士で賑はひ議會出席の高崎男爵、旅順工大學長野田清一郎氏、大連土地の鐵井八郎氏等の歸連、ヘラルド社長頭本元貞氏、元本社編輯局長米野豐實氏、日露協會學校長高田富藏氏、關東廳における稅制整理の豫備智識を求めるための法制局參事官佐藤基氏、可愛い滿洲軍北海道少女慰問團等の來連があつた、高崎男は

いやまた十六日ごろに上京する今年は男爵議員は改選期だし俺もしつかり勉强するよ、内地では滿洲事件に對する輿論は非常なものだ

佐藤基氏は

いや一寸暇が出來たので關東廳稅制整理の豫備智識つて言つたやうなものをしらべたり奉天にも行く積りで出掛けて來た、事件前に來る豫定が今日まで伸びただけさ

と語りながら何れも正月らしい元氣な顏で上陸した

◇

また常に日本の立場を英米各國に報告して滿蒙問題の正當な認識紹介につとめてゐるヘラルド社長頭本元貞氏はばいかる丸サロンで語る

昨年八月一度來たことがあるが今度も奉天に行き色々と材料を集める積りだ十一月十六日パリで開かれた國際聯盟の理事會議に間に合ふやう日本の滿蒙に對する歷史的關係、支那の排日的暴擧などを詳細に調べて四冊のパンフレットとし聯盟に送つたが今度も滿蒙におけるその後の實相をしらべて日本の立場を英米に報告するためその材料を集めに來たのです、然し政府筋は兎も角として英米の日本に對する輿論は非常に好くなつてゐて皆「結局滿蒙の治安は日本の力によつて維持する他はない」といふ風に考へて來てゐるやうだ

約二週間の滯滿日程だ

◇

更に東京にあつて滿蒙問題に關し各方面の緋論に健筆を揮つてゐる元本社編輯局長米野豐實氏は語る

結局議會は解散だらうね、然し双方とも準備は不充分だ、それに民政黨は選擧の神樣の脫黨があり、政友會には床次鈴木兩派の對立があるし双方とも苦しいところだね、まあ少數の差で結局與黨の勝となるだらう、然し政黨政治も今は非常な危機に立つてゐる、各政黨が黨の利益のみに走り國民の利益を基礎として立たない以上結局國民は政黨を去つてしまふだらう、然し現内閣が陸軍の中樞のチヤキチヤキである荒木中將を入閣させたことは非常な大成功だ、そして現内閣と軍部との步調は全く一つになつてゐるからこの點は心强い、實際今の陸軍は全く中樞少壯が中堅になつて働らいてゐる滿洲問題に對する内地の輿論は實際物凄いもので街頭宣傳なども盛んだがこれが空騷ぎに終らぬやうにせねばならぬ私はこの緊張が一時的なものにならねば好いがとそのことばかりを非常に心配してゐるのだ

學生の慰問團

青山師範の學生二名が二日入港のばいかる丸で來連したが島内中佐鈴木教諭に引率され島内中佐は語る

行ける所まで行く覺悟だが出來れば新らしい戰蹟を巡りたい、自分達は教育者の立場からして今度の事變の實際を見、實地に得た貴い體驗を以て國論喚起、國民教育の徹底に努める心算だ

また滿洲軍慰問北海道少女慰問團の可愛い少女連旭川高女の田代美代子、友田辰子、笠井豐子、旭川北部高女の坂内千惠子、花輪千枝子、金谷松江の六孃は五名の男子引率者に連れられて二日同船で來連したが、引率の先生は語る

北海道全道各方面の慰問狀と七師團管下各中等學校生徒小學校兒童の慰問繪葉書をことづかつて參りました、十四、五日ごろに滿洲をはなれる豫定ですが女の子供達も大切な使命に感激して非常な元氣です、殊に多門師團長はさきに旭川の聯隊長であり天野旅團長は參謀長であられたことがあるので今度の慰問は特に感慨が深いのです【寫眞は北海道少女慰問團】

安奉線の兵匪跳梁し
遂ひに列車射擊さる

安奉沿線における匪賊の橫行依然盛んにして被害續々たるものありわが軍隊、警官は更に警戒を嚴にしてゐるが一日の重なる事件左の如し

一、通遠堡派出所宇佐美巡査が一日午後三時ごろ敵狀偵察中突然匪賊のため狙擊をうけ左腕に貫通銃創を受けたので安東に送り入院治療中

二、一日午前六時十分ごろ五龍背驛北方構內信號所附近の電柱一本またも切倒され他の一本は切りかけてゐるのを發見、目下犯人捜査中

三、湯山城西方一邦里の地點に、一日午後九時五十分ごろ六百名の匪賊團が停車場を襲ふとの急報により目下軍警自警團にて嚴重警戒中

四、一日午前六時ごろ釜山行第二列車が五龍背構內に差しかゝつた際多數の匪賊の射擊を受け同列車の第三輛から七輛目にかけ七發の敵彈を受け窓ガラス四枚を破壞したが幸ひ乘客に被害はなかつた

五、鳳凰城東北約三十一支里の大鳳において一日午前六時半ごろ杉本寬吉及び鮮人鄭光令（二七）の兩名が通行中突如多數匪賊が襲擊し杉本は射殺、鄭は右足に貫通銃創を受けたが漸く虎口を脫し連山關に辿り着き我軍憲に急報したので目下追擊中、なほ鄭は連山關で手當中であるが生命には別條ない

六、一日午後十時十分高麗門驛宿舍附近に數十名の匪賊現れ我自警團、驛員等の死力を盡しての應戰に間もなく退却したが再度襲擊の恐れあり大警戒中

七、平山構二日午前三時七十名の匪賊襲來し本溪湖から應援の我軍のため擊退した

八、姚千戶屯二支里の支那部落に約二百名の匪賊襲來し放火、掠奪をたくましうしてをり我軍では討伐に出動した【奉天電話】

討伐隊出動

安東到着と共に匪賊討伐に向つた鳥取宮崎部隊は稍匪賊の跳梁も下火となつたため三十一日より安東に歸り市中に散宿中であつたが突如命令を受け二日午前五時安東發臨時列車にて全部隊は北行〇〇方面に出動したが驛頭には多數の見送りがあつた【安東電話】

九連城で便衣隊員を逮捕

安東署渡松警部補は去月三十一日便衣隊二名を逮捕本署に引致取調べの結果九連城に多數の便衣隊をるを知り司法刑事は直に現場に赴き捜査の結果、同地自警團に加入し居る便衣隊々長李吉武外數名を逮捕目下極秘裡に取調べ中李吉武は白面の美青年で九連城方面では非常な勢力を有してゐる【安東電話】

皇軍の錦州入城を祝して
四日旗行列を擧行
午後一時忠靈塔下集合

皇軍の錦州入城と同時に更に我軍の士氣を鼓舞すべく在滿日本人時局後援會主催の下に四日市民旗行列を擧行することゝなつた、當日市內各學校、各團體、在鄕軍人等は午後一時までに中央公園忠靈塔下に集合、それより蜿々長蛇の列を作つて市中隅なくデモンストレーションを行ひ大連神社に到着、我軍の戰勝報告を終つて解散する筈であるがこの壯擧を盛大に且つ意義づけるため各團體は勿論、一般市民の參加も希望されてゐる

市民新年祝賀式と奉天省城民の大デモ

田庄臺附近の匪賊を討伐
空陸から徹底的に

蔡寶山を頭目とする匪賊は田庄臺北東方面の良民を脅かしてをるので岩田〇〇獨立守備隊長はいよいよ一兩日中に海城縣全般にわたつて匪賊（正規兵を含む）千數百名を一兵も殘さず徹底的に掃蕩することゝなつた、尚これには〇〇の輕爆擊機も加はつて空陸協力して掃蕩する筈である【大石橋電話】

大石橋の守備隊けさ出動

煙臺西方約三里前小煙臺附近に一日夜半約六百名の兵匪侵入し掠奪放火をほしいまゝにしてゐるのでこの報に接した大石橋獨立守備隊より岡中隊步兵砲、機關銃隊は今早朝これが討伐のため出動した同守備隊では最近海城縣、遼陽縣、營口縣一帶を荒す蔡寶山等有力なる馬賊隊は鐵道沿線十數里に亙つて徹底的に討伐を斷行する筈である【大石橋電話】

遼中縣下で我軍と交戰中

鞍山守備隊味岡中隊は遼陽警察署員數名と共に二日午前七時半煙臺驛出發八時四十分煙臺驛の西方八支里郝二臺部落において賊團と遭遇目下交戰中（午前九時）であるが賊は漸次潰走しつゝあるもの如くである、前日鞍山守備隊が海城縣方面の匪賊を討伐したゝめ賊は遼中縣に集中しつゝありその一部は煙臺驛西方部落に漸次その數を增したために煙臺附近の良民は附屬地及び遼陽に避難するもの多く又村長が良民と相談の上匪賊となりて押寄する匪賊の暴業に備へてゐるものもある【遼陽電話】

戰傷兵遼陽到着

田庄臺附近において負傷した砲兵中尉以下十九名は一日午前九時五十分着列車で遼陽衞戍病院に收容された【遼陽電話】

開城當日を偲ぶ天候
旅順の元旦

北風五米突弱、氣溫零下一度殘雪もなき聖地旅順の昭和七歲元旦は過ぐる明治三十八年旅順開城當日を彷彿せしめる天候にて時局柄一しほ感慨深きものがある、關東廳を始め各團體學校等はいづれも定刻祝賀式を行ひ午前十一時三十分には昭和園に於て新年互禮會及び旅順開城第二十八周年記念祝賀式を擧行するもの例年の七百餘名を突破すること六百、合計千三百餘名に達し頗る盛大を極め永山市長の新年言志に次で大谷要塞司令起つて天皇、皇后、皇太后三陛下の萬歲、三浦內務局長は帝國陸海軍の萬歲を發聲一同唱和急霰の如き拍手裡に聖代を壽ぎ散會した

若松町初火事

二日午前十一時二十分市內若松町二三番地小川洗布所乾燥場から出火、消防署員の出動で同家裏手を半燒十一時四十分鎭火した、原因はストーブの不始末に因るらしいが損害目下取調中

南大將歡迎會

三日午後六時からヤマトホテルにおいて辛島知己、村井啓太郎、岩井勘六、實性確成、松山忠二郎氏等發起の下に來連中の南大將歡迎會を開くことゝなつた、會費三圓申込みは二日中に市役所宿直室まで

天氣豫報

三日 北西の風（晴）一時曇

	（二日十一時）	昨日最低
大連	四、三	零下七、五
旅順	四、七	同 六、二
營口	零下三、〇	同 一五、三
奉天	同 一、三	同 一七、七
長春	同 六、七	同 二〇、六

家庭

「あちら」のお正月
除夜を大切に騷ぎぬく
米・佛・獨・露のお話

やンラトスレ・ホテルで迎春
除夜の鐘を合圖におめでたう
米國――下村彌生夫人談

ア メリカと申しましても私どもの住んで居りましたのはシヤトルでございますからニューヨークあたりのことはよく存じませんがあちらもクリスマスの賑やかさにくらべるとお正月はひつそりして居りますが、ニューイーア、イヴ（除夜）だけはなか／＼賑やかでございます、中流以上の家庭ではこの晩は自分の家で食事をせず大がいホテルやレストランで夕飯を頂きます近年アメリカの都會では今までの所謂家庭といふもの〻影がうすくなつて、ホテルやレストランが家庭の延長としてかういふ會合に利用されることが多くなりました。

シ ャトルは禁酒州ですから大つぴらに飲酒する事は出來ませんが中には巡査を買收してメートルをあげる人たちもあるやうです、食事がすみますとダンスがはじまります、劇場やボードビルは十一時からミッドナイト、マチニーがはじまりどこもこゝも大入滿員です。やがて十二時の鐘が全市にひゞき渡りますとあらゆる興行物は一齊に中止され、興行主はステーヂに起つて新年の挨拶をのべます、すると全會衆は白人も黒んぼも黄色い日本人もみな隣の人と手をつなぎ合つて「ハッピー・ニューイーア」を言ひ交します、そしてそれ／″＼用意して來た

紙 のおどけた帽子を冠り上衣の下にひそませた笛かラッパをとり出してピーピープープーならすのですがその十分か十五分間の賑やかさ、騷々しさといつたらありません、一しきりこの騷ぎが靜まると又前のとほり芝居やシネマの續きがはじまりますが、その後はごく靜かでそれ／″＼ハネを待つて家へかへつてやすんでしまひます、元日だけは銀行や會社も休みですが二日からは又平生の通りでほんとにあつけない位のお正月です。

ツイド
支拂ひは元旦にする
年の始にキマリよく
堀シャロテ夫人の話

西 洋では一般にお正月よりも除夜を大切にします、ドイツでは大晦日の事をシルベスターと申しますが、各商店や銀行もこの日は半日限りで勤め人は大がいこの日に給料をもらつて懐中具合がよいので餘計賑やかなのです、この日にはファン、クーホンといふジャムの入つたまんぢう見たいなパンを頂くのがならはしで、どこのお菓子屋さんでもデパートでも道ばたの露店にまでこのファン、クーホンを賣つてゐます、丁度日本でお正月にお餅を頂くやうなものです

さ て大晦日の夜になりますと子供たちは早くねかしつけて、裕福な人たちはレストランやホテルのシルベスターダンスに出かけます、家に大勢お客さんを招く家庭もあります、みな十二時を目標のパーティですから十一時頃にもなりますとどこの町もこの集合へ出かける男女のために押すな押すなの賑はひで、兩側の二階三階の窓から五色のテープが雨のやうに群衆の頭に降り、爆竹や花火がボン／＼と鳴つて到底も大變なさわぎです、いよ／＼十二時になりますとあちこちの教會の

鐘 が一齊になり渡り、會衆はニッケイの入つた熱い葡萄酒を乾盃し「プロージット、ノー、ヤー（おめでたう）」を言交し、知つてゐる人も知らないも手を投げかけて接吻したりするのですが、この時だけはだれに接吻してもよく又怒つてはいけないのです、かうして面白可笑しく男も女も一しよに夜のふけるまで踊つたり歌つたりしますが、明け方近くなると大がい自分の家へ引きあげてやすんでしまひますから元旦の朝の町はひつそりさしてゐます、銀行や店は元旦には二時間しか店を開けません、お晝近くなると醫者、

新 聞屋、家主、洋服屋などが勘定をとりに來ますからこれをキチンと支拂つて郵便配達、牛乳配達などにはそれぞれ心づけをやります、つまり元旦は一年のはじめですから何事もキマリよくしやうといふので日本人の考へ方と少し違ふやうです、二日の朝からの新聞はどれもドロ棒の記事で一ぱいですが、殆ど全部シルベスターで家をあけて大さわぎをしてゐる間にやられたので少し皮肉なやうにも思へます

フランスの面白い習慣
大坪正氏談

フ ランスのお正月はと聞かれてもパリの小さいホテルにくすぶつてゐた者には大した材料の持ち合せもありません、パリの除夜は一部にはレストラン邊で踊り明かす人もあるやうですが割合にひつそりさ、町には辻々で賣る燒栗の匂ひがたゞよつてゐました、氣候も大連の冬くらゐつめたいのであまり出歩く人もありません、裕福なパリ人はクリスマスの前から暖かいドービルやビヤリッツあたりへ避寒して靜かな新年を迎へるやうです、元旦の午後モンマートルの寺院をのぞいて見ました、どこの田舍から出て來たのかと思ふやうな野暮くさいなりをした善男善女が二萬近くも集つて熱心に彌撒を捧げてゐました、この善男善女はパリの近郊近在の人達が多く前夜からずつと斷食して彌撒を上げてゐるのでした

で 一つ、お正月を中心にして行はれる面白い習慣があります

クリスマスになりますとどこにも出入口のドアの上にミモーザの花と寄生木をかけます、ミモーザといふのはねむの木に似て黄色な可愛い花の咲く豆科植物で愛のシムボルとされてゐます、ですからこの下をくゞる時には誰でも接吻し合ふことが許されてゐて、年頃の若い男女や相思の人たちにとつては何より嬉しいシーズンであるやうです。

アシロ
馬橇を飛ばせ年始廻り
賑かな大晦日の夜
戸泉ゼーニア夫人の話

ロ シアでは日本のお正月のやうに大さわぎはしません、何しろクリスマスに殆ど財布の底をはたいた揚句ですから、でも大晦日の晩だけは大變賑やかです、大きな家では親戚や親しい人たちを大勢招いて三鞭を拔き貧しい人達も家族打揃つて葡萄酒やウオツカを祝ひます、食卓にはハム、チーズ、七面鳥、豚、魚などの料理が山と盛られ折柄新年を告げる除夜の鐘がチリチリボンボン／＼とバスからソプラノにわたる幾種の音色が美しいハーモニーをもつて方々の教會から響いて來ます、これを合圖に會衆は「新年おめでたう」を言交して杯をあげいよ／＼たのしい新年の

祝 宴が開かれるのです、酒が廻るにつれてピアノやギターやバラライカが引ぱり出されます、のど自慢の男は十八番を歌ひ出します、若い男や女は組んでワルツやポルカを踊りかうして年寄や子供や病人を除いた外は五時六時までも歌つたり踊つたりします、いつの間にか小さい粉雪がサラサラと窓を打つて新らしい年の黎明が外にしのびよつてゐます

踊 り拔いて更に疲れを知らぬ人たちは夜が明けると共に馬橇をとばし雪煙をあげながら「おめでたう、おめで度う」と近所隣りを挨拶して廻るあたりロシア情調たつぷりな中にちよつと日本のお正月と似通つたところがあります

チヨクダイ「アカツキ ノ ケイセイ」

漫画 とんちやんのお正月（羽根つきの巻） よしもとさんぺい

1 だれかあいてがほしいワ

2 ぼくがあいてになってあげるよ

3 エイッ　だれがなんといったってぼくはピッチャーだからなー

4 〆

新春の室内遊びいろ／＼
簡單で 誰にも出來る
なるべく材料を手近に取つて、簡單に誰方にも出來る、そして新新な室内遊戯を並べて見ました

さあ！やつてご覧

即席手品

燃ゆる貨幣
一枚の封筒と十錢の白銅貨一個とを持つて出て「唯今からローソクの火を以て此の白銅を燻りにしてお目にかけます」さて片手にローソクの灯つたのを持ち、白銅貨は封筒の中へ見物の見てゐる前でスルリと落し卓子から離れて見物席に至り「此の通り白銅貨は封筒の中にありますから、手にとつて御覧下さい」と二、三人の人にさわらせた後「いよいよ皆樣の目の前で點火致します」と口上よろしくあつて、封筒を火箸で挾み片手に持つたローソクを封筒の下部へつけてメラメラに燃やして仕舞ひます。しまひまで燃えても白銅貨は影も形もありません。見物の諸君は「どうして燃えるんだらう」と不思議に思ひます。

種明し 封筒の下の隅を白銅貨の出る位切つて置きます白銅貨を入れる時は卓子の上で巧に其の切れ目から音のせぬやう外へ出して仕舞ひます、封筒の底には別に燃燒性の材料、紙で作つた十錢白銅大のものを貼りつけて置き、見物人がさはつても又ローソクの火で透して見ても恰も實物の十錢白銅のやうに思はせるのです

銀貨の行方
五錢白銅を持出し「此の白銅には大正〇年としてあります」とて見物人に一應見せた後、卓子の上に置き、今度はそれを左の手に持つて「これを皆さんの前へ投げます」とてエイッとばかり投げて見せる「御覧の通り唯今の白銅は何れへか飛んで行きました。どこへ行つたか一つ調べて見ませう」と暫く考へた末「飛んでもない處にありますよ。此の中に多分入つてゐます」とて机の上にかれて積んであつた數個の林檎の中の一つを取り上げて一應きずの有無を確めさせ「どうも此の中にあるらしい」と庖丁を持つて二つに割ますと、中から先刻の白銅が出て參ります。見物はやんややんやです。

種明し 細くて丈夫なゴム糸の先に白銅を結びつけて、シャツの袖につけて置きます。それが丁度着物又は洋服の袖に又はカフスの邊に來るやうにして置きます。見物人に見せた銅貨を一旦机の上に置いて、次に取り上げる時、實は袖口の白銅を持つのです。そして實際にパッと投げたと見せて手を離すと白銅はゴムの彈力で袖の中へかくれて仕舞ひます。林檎の中から先程の白銅と同一の年號のものが現はれるのは庖丁のある部分へ鬢付油を塗つて置き先刻卓子の上に置いた白銅をそれにつけて指で白銅を押へた儘林檎を切り手際よく出して見せる

燐寸遊び

二つの正方形
マッチ二十四本で九つの正方形を作りまして、其の中から八本のマッチを除いて二つの正方形を殘して御覧

六本を利用
マッチ六本を利用して菱形三つ、三角形六つ六角形一つを作つて御覧なさい。大變六つかしい註文ですが、出來上つて見ると、案外容易なもので「あゝさうか」と思はず微笑なさるでせう。

三角形八つ
今度はマッチ八本で同形で同じ面積を持つ三角形を一時に八つ作つて御覧なさい。之れは一寸六つかしいやうですが矢張り簡單に出來る筈です。

『スポーツ日本』の名を中外に揚げよ

日本選手の活躍を期待される

國際オリムピック

【上】

全世界の運動界が鶴首して待つてゐた第十回國際オリムピック大會はいよいよ本年二月四日からアメリカのレーク・プラシツトにおける冬季競技を前哨戰として七月三十日より八月十四日まで十六日間に亘つてアメリカ、ロスアンゼルスで開催される事となつた。

陸上、水上をはじめ漕艇、拳闘、馬術、ホッケー、フエンシング、體操等十五部門、百三十五種に亘る競技の展開は遠くギリシヤに行はれたオリムピックゲーム以來のスポーツ界の縮圖であり、又現代スポーツの萬華鏡ともいふべきである、一國の期待と輿望を双肩に擔つて、この晴の大會に出場する選手は今日既に三十六ヶ國、三千餘人の多數と豫想され、大會に對する各國の準備は着々として進捗し今や唯だ最後の試練を待つのみの狀態にある。

主催國たるアメリカ當局の大會に對する準備も日一日と完成を遂げ、參加各國の選手をして充分技倆を發揮するに些の遺憾なからん事を期してゐる、四年に一度の國際オリムピック、フエヤー・プレーとクリーン・スポーツを象徴するアマチユア・スポーツの精華として全世界をあげて絶大の期待と希望を持たれてゐるも亦當然であらう。

◇

さてオリムピックに對する我國の準備はどうであらうか、一九一二年ストックフォルムで開かれた第六回大會に金栗、三島の兩選手を送り始めて大會に參加して以來一九二〇年アントワープの第七回大會には陸上、水上の二種目、一九二四年パリの第八回大會にはレスリングを加へ、前回のアムステルダムの第九回大會にはボート、馬術、拳闘、スキーの四種目を新たに加へた日本の運動界は、來るべき大會にはホッケー、スケートの二種目にも選手を送り、八種目に合計二百名の代表選手を送らんと意氣込んでゐる、オリムピックに日本を代表する大日本體育協會では昨年の春以來鋭意準備に取りかかり、陸上、水上をはじめ關係各團體もそれぞれ委員會を組織して大會に臨む萬全の準備を整へてゐる、唯問題となるのは選手派遣に要する經費の問題で、體育協會では昨年夏の理事會で四十萬圓の豫算を作成したが、緊縮節約の折柄此豫算を無難作に調達することは困難で結局各方面の寄附に俟つより外はあるまいが、この寄附金の集る程度によつて參加種目、派遣選手の人數にも變更を生ずる事にならう。

◇

今度のオリムピックで一體日本はどの程度まで戰へるであらうか これは極めて興味深い問題で既に一二年前から論議され、研究されて來たところであるが、今各方面の意見を綜合すると、參加八種目の中でオリムピックに對して可成り古い歴史を持つ陸上と水上の二種目は今回の大會では最初から世界の强剛を相手に堂々たる戰ひをなし得るだらうと豫想され、其他の各競技は前回に較べて格段の進歩を見せるには違ひないが、確實に得點し、入賞して優勝を爭ふまでには更に一段の努力を要するものと見られてゐる、果して然らば今年のオリムピックにかゝる期待もこの陸上、水上の二種目にある譯で、吾人の興味も亦此處に注がざるを得ない、即ちオリムピックに對する豫想も亦陸上、水上の二種目を主とするのは當然であらう

陸上競技

アムステルダムの大會で二十點を獲得し第七位を占めたわが陸上競技界のロスアンゼルスにおける活躍振りはどうであらうか、昨年度に現はれた成績と大會を目前に控へた初夏の頃の實力は實際問題として相當の相違があるべく、これに今年の大會から一種目に對して參加人員は三名になつた關係もあり、且つその時のコンデイシヨンに支配されることが多大なのでこれを的確に言ひ當てることは却々困難である、とまれ吾人をしてその豫想を記さしめよ!

日本は今度の大會に男女併せて四十一名の陸上選手を派遣する豫定であるが、今までの成績から考へて今度の大會ではアメリカ、フインランドに一、二位は讓らざるを得ないとしてもドイツ、スエーデン、イギリス等の强剛に伍して第三位を爭ふことは必ずしも不可能ではない、少くとも第四位は確實といへやう

もつとも有望なのは跳躍競技である、前回アムステルダムではアメリカの四十五點に對して十一點をとつて第二位を占めたが、今回はより以上の得點が期待出來る、走高跳、走巾跳、棒高跳、三段跳の四種目の何れにおいても入賞出來ることは先づ斷言出來やう

最も有望なのは三段跳で、織田の作つた十五米五八の世界記録を以てすれば優勝は確實であるばかりでなく、第一位から第三位までを獨占することも出來る、昨年度において十五米を越えたのはスエーデンのスヴエンソン、オランダのピータース、フインランドのヤルヴイネン位なもので、日本が織田、大島、南部のトリオによつてこの種目に一擧十五點を獲得するのは決して至難事ではない、ロスアンゼルスの碧空高く日章旗を飜へし君が代を合唱せしめるのは先づ織田の三段跳であらう

次ぎに優勝の可能性のあるのは南部の走巾跳である、南部が昨年神宮競技で出した七米九八の世界記録は本年の大會における彼の優勝を確實にしたものといへやう、南部は如何なる惡コンデイシヨンに於ても七米五〇は確實に越えるから、よしんば當日のコンデイシヨンが惡く優勝を取り逸がしても第三位以内に入ることは絕對確實である、然もこれにつゞく織田の七米五二、大島の七米三七の記録は米、獨の强剛に伍して確實に入賞圏内にあるものといへる、米のバーバー、ゴルドン、トムソン等の七米七〇、獨のケッヘルマン、ノーレの七米四〇の記録は又織田南部、大島の日本チームと好試合を演ずる事にならう

走高跳は木村に唯一の期待をかけるに止まるが、昨年度の彼の成績は一米九四はいつも越えてゐるから、これも入賞確實といへやう 昨年度の走高跳の記録は相當よくアメリカで一米九五を越えた選手は二米〇一のスピッツを驚異にベンサー、オスボーン、オコンナー、バーグ、マーテイ等の多數に上るが、歐洲諸國では大した記録は出なかつたやうであるから、出場選手が一國三人と限定された今日木村の奮闘次第では二、三位を爭ふ事になると考へられる

棒高跳は昨年度において非常な躍進を見せ、四米を越えたものは全世界で三十餘人あるから四米一〇の西田は相當苦戰と考へられる然し彼は元氣な時には四米二〇を越える實力があるから大會でその實力を發揮するならばアメリカの三人、スエーデンのリンドブラット、ドイツのウエグナーと共に得點を爭ふとは先づ確實と思はれる西田を援けるものに文理大の望月がある、四米を越えたその實力が更に一段と磨きをかけられたなら調子如何で六等を窺ふ事が出來やう

以上の四種目を通じ日本軍は少くとも三十點までは得點を擧げ、ジャンプ國アメリカに相當の脅威を與へることは先づ間違ひあるまい、跳躍競技に次いで、日本軍に有望なのはアムステルダムで好成績を得たマラソンで、噂通りヌルミでも出場しない限り三段跳と同様優勝の可能性がある、鹽飽の二時間三十四分四秒、高橋の二時間三十四分三十秒、金の二時間三十四分五十八秒のタイムは何れも前回の入賞圏内にある成績でコンデイシヨンに支配されることの多い競技ではあるが先づアムステルダム大會における位の成績は充分期待出來やう

トラック競技では四百米繼走に最も入賞の期待がかけられる、昨年の學生對一般競技に井沼、佐々木、吉岡、阿武の四人で作られた四十一秒六の好記録はアムステルダムの第三位に入賞し得る成績で井沼、佐々木に代ふるに南部、西を以てすれば世界記録四十一秒に迫るのは易々たるもので今年の大會で米、獨と接戰が期待出來やう以上が大體今年の大會で日本が得點出來さうな種目で、他のトラック競技は入賞圏内に入るには今一息の努力が必要で、フイールドの投擲競技では住吉の槍投が多少有望といふだけである

結局日本チームの得點は順當に行つて四十點位を獲得し、英、獨、佛、瑞典等の强剛と第三位を爭ふ事にならう、但し今夏までに彌餘の競技の成績が更に一段の向上を示すならばアメリカ、フインランドと共に大會の覇權を爭ふことは決して不可能な事ではないと言ふ事を附け加へたい

水上競技

アムステルダムの大會でアメリカに次いで第二位を確實に占めた日本の水上競技界は本年の大會ではアメリカを相手に廻して乘るか反るかの一戰に優勝を爭ふ物凄い意氣込みを示してゐる、アムステルダム大會以來四年間における日本の水上競技界の進歩は他のスポーツ界において世界的標準に達した、先づ最初の競技種目たるの榮冠を擔つた、果して然らば本年の大會で日本は見事アメリカチームを撃破してオリムピック大會の覇權を握る事が出來るだらうか、昨年度行はれた全米選手權大會、歐洲選手權大會、全日本選手權大會と日米對抗大會の成績を比較し更に過去四年間における日本水上競技界の輝かしい躍進振を考へる時、我々はこの一オリムピックでの優勝」といふ事が必ずしも非常に困難な事實でないといふ事を發見するのである

今度の大會で日本にとつて最も確實で有望な種目は千五百米自由型である、昨年度において全日本選手權では武村が二十分二秒で、日米對抗では牧野が二十分九秒二で各優勝したが、十九分臺の記録は遂に聞く事が出來なかつた、然しこのタイムですら現在のアメリカ及び歐洲の何人にも侵入を許さない、必ずしも十九分臺のタイムを出さなくてもオリムピックにおいて確實に優勝し、一、二位を占めて日章旗をメーンマスト高く揚げることが出來やう、千五百米こそ陸上競技の三段跳同様日本チームの書き入れの種目である

千五百米についで有望なのは百米と八百米リレーである、百米は久しく强剛高石の獨り舞臺で、彼の五十九秒四の日本記録は到底破り得られまいと想像され、彼の强さを稱へる一面その後繼者無きを嘆ぜしめたが、昨年の全日本選手權で宮崎の出した五十九秒二といふ日本新記録と、決勝に殘つた六人が悉く六十秒前後のタイムだつたといふ事實によつて、日本の短距離界は俄然活氣を呈し一面オリムピックに對する期待も高められた譯である、宮崎の五十九秒二は昨年度の世界のベスト、ファイブにおいてハンガリーのバラニーに次ぐ第二位の成績である、オリムピックにおける日本の短距離陣の敵はこのバラニーと米のコヂヤックである、大會までの一シーズンの精進によつてバラニーを破りコヂヤックを退けて百米に覇を唱ふる事は大して至難事ではあるまい

八百米リレーにはアムステルダムの大會でもアメリカに次いで第二位を占めた、昨年の日米對抗では多大の期待をかけられながら意外の慘敗を見た、この競技も秋の全日本選手權には濱名游協が九分二十秒八の日本記録を作つてアメリカチームの九分十七秒に肉薄し、現在の日本一流チームでベストメムバーを組織したならば九分十五秒前後のチームが作り得られる事になつたから今年の大會においてはアメリカチームを相手に大接戰を演ずるものと期待出來やう

以上の他四百米は横山の奮闘で背泳は清川、河津、入江の活躍で平泳も鶴田、小池の努力で確實に得點が出來るから本年の大會こそ堂々アメリカと一騎打ちのレースが出來やう

日本チームが期待通り果して世界一の水泳王國となり得るや否やは蓋し本年のオリムピックの各競技を通じて最も興味ある問題で世界各國の注視の的であらう、吾人は一新興日本」の名譽のために水泳の覇權獲得を祈願して止まぬ

曉の雞聲

關東廳地方法院長　森本豐治郎

東の空白みぬ。
曉け、
鐘聲は遠くに起りぬ。
夜の扉は開かれぬ。
曉け、
雞鳴は近くに響きぬ。
げに「曉の雞聲」こそ、
醒めよ、
立てよ、
勉めよ、
勵めよ、
さ、人を
惰眠より起床に、
休息より活動に、
弛緩より緊張に、
逸樂より努力に、
さ、促しに促すの天聲神語の警告なれ。
あゝ、今や
國事多端、
而して
國歩艱難。
思へ、
兵士は、
警官は、
滿鐵社員は、
其の他特殊の使命を帶べる人々は
零下三十度の酷寒を、
北滿、南滿の荒野に、
兇暴飽く事を知らざる、
兵匪と戰ひつゝあり。
危險累卵の如き間に、
身命をさらしつゝあり。
吾等、大連の文化住宅に、
身をスチームに溫めつゝ、
家族團欒の樂をほしいまゝにしつゝある者、
豈思はずして可ならんや。
再考し、
三省して然るべきところとす矣。
今歳昭和七年御歌會始めには、
勅題「曉の雞聲」を賜ひぬ。
嗚呼「曉の雞聲」!
これを單に三十一文字の國ぶりに
風流雅懷を述ぶるが爲めとのみ解するは、
餘りに意淺きにあらずや。
聖論勅旨、廣大無邊、
かしこしともかしこし矣。
女學校の乙女よ、
中學校の若者よ、
汝が學修の餘暇、
街頭に立ちて菓子をひさぎ、
餅を賃づきするも可なり。
婦人團の諸姉が、
青年會の諸兄が、
献金箱をさゝげて道行く人を、
四辻に要するも不可なく、
旅するもの、靴を埠頭に磨くも亦妙なり。
其の方法を問はず、
之が手段は選ばず、
要するに、
擧國一致、
國難に殉ずるの、
覺悟を示し業績を擧ぐるに在りとす。
畏れ多くも
明治大帝の御製に宣ひき、
國を思ふこゝろに
二つなかりけり
いくさの庭に
立つもたゝずも。
草莽の臣謹んで勅題を賦す。
曰く、
くだかけの聲をちこちに
しきりなり
さめよめさめよ
勉め勵めと。

賀正

東京

岩永裕吉

林正春

橋本欣五郎

大渕三樹

小田久太郎

横山信毅

中田金司

小梅順造

木部守一

水谷光太郎

衆議院議員 森本一雄 大阪市住吉區住吉町

重山敬三

賀正

鞍山・金州・大連

鞍山

鞍山市場株式會社 電話二七九番

正隆銀行鞍山支店 電話一三四番

滿洲銀行鞍山支店 電話六七番

南滿洲電氣株式會社鞍山支店 電話五一三五番

鞍山不動産信託株式會社 電話二〇 一四一

鞍山輸入組合 電話六一番

滿洲興業株式會社 電話五五番

鞍山笑和會

鞍山昌榮會一同

鞍山地方委員會

南滿洲土建協會鞍山支部 電話四番

鞍山金融組合 電話二二五番

料理 橘家 電話一二五・三五五番

料理 一樂 電話一二七・七五番

鞍山白松酒造合資會社 販賣所 盛海分店

鞍山中學校職員一同

鞍山滿鐵醫院從事員一同

叶井貫一 電六五番

遼鞍印刷株式會社 電四一五番

やまき呉服店 電二三三番

近江屋ホテル 電三二八番

鞍山銑鐵共同販賣所 電三七〇番

鞍山石炭共同販賣所 電四七番

金城商會 電二九番

住吉長平

大惠商店 電一二六番

演藝館 電二七〇番

神田藤兵衛 電五〇番

伊藤益太 電四五番

喜卦川常吉 電二六番

三浦源七 電一八番

能登谷久松 電二三八番

石川義助 電七三番

片岡鐵工所 電一〇八番

雨蓮社 電一四二番

古野八郎 電一三番

扇屋旅館 電一四〇番

大盛堂書店 電二四〇番

盛海洋行分店 電三六五番

北川金光堂 電三四九番

諫山工舍 電三六一番

齋藤寫眞館 電一六九番

鞍山タクシー 電一一八番

池田タクシー 電一五〇番

鞍山農商聯合會 電一一五番

銀蝶 電一一一番

天祐 電四三六番

金州

金州民政署 署長 増田道義 庶務課長 平井齊三 外署員一同

金州警察署 署長 高瀬哲治 外署員一同

關東廳農事試驗場 職員一同

關東廳種馬所 職員一同

金州農業學堂 金州尋常高等小學校 公學堂南金書院 職員一同

内外棉株式會社金州支店 電話（事務所 七六・七七番 電氣 入事 一三五・一七〇番）

金州金融組合 電話一三二番

株式會社 金福鐵路公司 電話 大連 八五七二番 金州 六九番

南山麓 福昌農園 電話一八番

果樹 金州園 金州驛前 電話一七〇番

果樹 遼東農園 金州果家屯

岩間徳也
井上勇
岩崎文五郎
泉屋與吉
林田重三郎
堀内正重
本丸弘
堂地政一
買雨田
加世田彌二郎
川名繁吉
南日良吉
中富貞夫
内海瀬一
倉重光藏
山口二郎
松見宅雄
松元計介
松本重造
三浦健造
關山勝三
（イロハ順）

谷本果樹園 金州東門外 電話一五三番

果樹 南山園カフエー 南山麓 電話一〇三番

カフエー金州亭 金州驛前 電話二〇八番

驛前 昭和食堂 電話七八番

東町三三番地 三川タクシー 主 三川安太郎 電話四三番

驛前 會席御仕出 筑紫 電話三七番

土木建築請負並に勞力供給 泉屋組 電話（二三〇・六七番）

内地旅行中に付年賀缺禮仕候 煉瓦製造 土木建築請負 官衙御用達 櫻町茂 電話一二四番

關東廳職員 新舊市街 購買會指定 中空呉服店 竹内喜秋 電話一五八番

諸官衙御用達 圖書雑誌 宮田製自轉車特約店 内海商店 電話一〇五番

鮮魚商 西園商店 電話一二五番

御料理 文廼家 電話一二番

御料理 玉乃家 電話一一番

滿鐵石炭指定販賣 棗田洋行 店主 棗田多都代 電話一六三番

喪中に付年頭の賀詞御遠慮申上候 金州旅館 電話三一番

大連

大連市橋立町一〇 小崗子露天市場事務所 電話三七二四番

度量衡 水上洋行 大連市惠比須町五三 電話六九四一番

大連市吉野町 畑中商店 電話三九四五番

大連三業組合員（イロハ順）

【料理店】

- 監部通六八 濱之家 電四二五五 三六八六
- 浪速町一五〇 布袋 電八五〇九
- 信濃町九三 鳥彦 電四四八三
- 浪速町一七四 淡月 電四六三六
- 春日町二 鶴家 電七二三九
- 美濃町一 湖月 電八一七七 八一七八
- 浪速町一二七 天金 電六一〇九
- 中央公園内 西園亭 電五一二〇 五一二九
- 愛宕町三八 菊水 電五〇六三
- 美濃町一五 扇芳亭 電七〇八二 五七八七
- 若狹町三六 玉久良 電八二九二
- 監部通六一 いろは 電七七九六
- 信濃町二五 美登里 電七二一九
- 美濃町五三 新壹樂 電五三四六
- 信濃町七六 新菊水 電五八二〇
- 信濃町八五 新二葉 電四九四一
- 磐城町二六 新瓢 電五四〇一
- 美濃町六九 新小松 電三〇〇一
- 浪速町一三五 新富 電三二九〇 七五二七九
- 浪速町一三五 新濱 電六四三九
- 信濃町七七 芝田 電三〇九一
- 浪速町一七八 瓢 電四四二五
- 信濃町三七 瓢亭 電四五〇七
- 美濃町三五 壽美禮 電五〇三九

【食席】

- 美濃町三五 岩戸 電三四〇八
- 信濃町八八 花丸 電五二五四
- 美濃町一九 初音 電四六七五
- 磐城町一二 花菱 電五四六二
- 浪速町一七二 錦 電四八三七
- 浪速町二一一 こんぽ 電五〇三三
- 伊勢町四五 千歳 電四二五六
- 美濃町二三 千草 電七五〇四
- 伊勢町五二 千代本 電四三六八
- 浪速町一三五 蝶々 電七〇四九
- 磐城町六 扇家 電四二五一 二一四七三
- 伊勢町五二 かなめ 電四三一五
- 駿河町二八 芳家 電四二七九
- 美濃町六五 よし本 電六四〇七
- 伊勢町三六 月之家 電四三八七
- 信濃町八〇 松家 電四六六九 六九三五
- 美濃町五一 万亭 電二一三四六
- 美濃町四七 富久家 電五六二六
- 磐城町一四 江戸家 電四八五七
- 大山通二八 愛廣 電四六六〇
- 美濃町五五 照之家 電四七五三
- 浪速町一六〇 澤乃井 電五五〇四
- 信濃町九四 喜奴多 電八九二五 五二八五
- 磐城町五〇 喜扇 電七九二九
- 美濃町五一 銀月 電六九三九
- 浪速町一八四 吟松亭 電五〇〇三
- 伊勢町二七 京花 電五〇七三

【置屋】

- 美濃町八一 井筒家 電四二〇三
- 信濃町二一 いわさき席 電七三〇二
- 美濃町四三 一呂席 電四四四一
- 美濃町五七 生松席 電二一四四〇
- 信濃町八〇 林家 電四六六九
- 磐城町四六 富家 電六七六〇
- 大山通七三 常盤席 電七六一一
- 美濃町三五 小川席 電三六四二
- 美濃町四三 近江家 電二二六三〇
- 磐城町三四 吉田席 電七六一七
- 浪速町一七四 淡月席 電四五八〇
- 美濃町六五 玉之家 電五七七八
- 美濃町七 高砂席 電八一七九
- 美濃町四一 八千久席 電三六四四
- 美濃町三九 山口席 電三五〇四
- 大山通七三 松坂席 電八三五〇
- 美濃町六五 富津三席 電
- 浪速町一七〇 琴平席 電七二〇三
- 磐城町四四 天狗席 電八九〇九
- 美濃町一九 相生席 電三八〇四
- 岩代町三二 笹邊席 電七二四六
- 信濃町六四 櫻川席 電二二四七
- 美濃町六一 北村席 電七三八九 八七五七
- 信濃町八八 北村席 電八四九九
- 大山通七七 清之家 電四八二九
- 美濃町二三 末廣席 電四二〇五
- 磐城町二六 壽々本 電三五三七

大連市三業組合事務所 電話四五〇六番

大連檢番 電話代表五二一六番

大連女紅場 電話三六九三番

武門血笑記 (13)

下村悦夫作　布施長春挿畫

地獄の一丁目（一）

「今晩は！」
「今晩は！」
走馬燈のやうに、二つの影が次から次へ續いた同じ眞夜中時、井上柳庵といふ近頃賣出しの醫方醫者の門を、大聲に叩き起してゐる者があつた。
「お願ひします。本町通りの山源から參りましたが、一寸お願ひします」
急に起きさうな氣配も見えなかつたが、山源といふ聲に餘程利目があると見えて、間もなく、小門をギイーと半開きにして、召使の下男が顔を出した。
門前には、手代風の若者が二人後に駕籠を釣らせて立つてゐた。
「夜中にお騷がせして濟みません私共は、本町通りの山加屋源左衞門の宅の者ですが、主人が、先程から急に加減が惡くなりまして、是非、こちら樣の先生に至急に來て頂くやうに御願ひして來いと云ふので、へえ、お寢みの所を誠に恐れ入りますが、御願ひに上つたやうな次第でして、へえ」
と、一人が揉み手をしながら、こう云ひ云ひ、手早く懷中から取出した、紙に捻つた小粒を、そつと下男の手に握らせる。
小粒の利目は覿面、下男の爺やは、遽さうな目を急にぱちくりとさせて、
「へい、宜しうございます。では一寸お待ち下さいまし」
と、自分の事のやうに、ちりちりさして奧へ入つて行つた。
山加屋といふ名が、そんな風に利目のあるのも、無理はない。それは、この鳥取の城下でも、五本の指に入るやうな分限者で、御上へさへ、御用達しをしてゐる程の物持ちであつた。その山加屋からの迎へと聞いて、柳庵が支度もそこ／＼に、大急ぎで出て來た事は云ふ迄もない。
「御苦勞ちや喃」
緩い會釋を一瞥、ぐつと脇袖に手を入れたまま、柳庵が、鷹揚な身振りで駕籠の中に身を入れると駕籠はそのまま城下町を、韋駄天のやうに走り出した。
「これ、これ、そんなに急いでは困るではないか」
と、柳庵の云ふ聲も、耳に入らぬらしく、左右に附添つた手代風の男も一緒に、駕籠は次第に城下町を突き切つて、外の方に近づいて行く。
「これ、これ、道が違ふではないか、道が」
柳庵は、時刻が時刻であるし、何を云つても取合はぬ駕籠屋の樣子に、不安を感じたらしい頓狂聲
「へえ、本宅でなく、別宅の方ですから」
と、手代の一人が云つてゐる口の下から、駕籠はどん／＼淋しい通りへ入つて行つたかと思ふと、ぐる／＼と同じ處を廻つてゐるらしい。
「いけない、いけない、これ駕籠屋、こゝで下ろせ、こゝで」
次第に高まつて來る不安に、柳庵は堪へ兼ねたと見えて、駕籠の中から大聲を上げた。
と、不意に、駕籠はぴつたり止まつた。が、周章てゝ、飛び出した柳庵が、
「あつ」と聲を上げる暇もなく、矢庭に飛びかゝつた、手代風の二人の男、左右からぐつと抱きすくめて、
「聲を立てると命がねえぞ」
がらりと變つた遊び人風の凄文句、柳庵の胸許には、一本の匕首が、星明りにキラリと煌いた。

初春興行 好天に惠まれ賑ふ

初春興行の映畫街は各館一齊に元旦から午前十一時開館して一日三回興行を以て備へ新來の好天候に惠まれたが、例年の如く午前から午後にかけては客足思はしからず夜間興行に入つて果然正月らしい景氣を見せて大入札を掲げた、各館を一巡して見ると常盤座と映樂館は共に全發聲興行をなし、一九三二年度の大連映畫界の尖端を切つてトーキー時代への躍進を思はせ「モンブランの嵐」が洋畫ファンの興味をそゝり「キートンの決死隊」が正月物らしく賑やかで中央、映樂館は石太プロの大江美智子一行が舞臺挨拶と舞踊「鶴龜」「唐人お吉」及び寸劇、ジヤズソングで客足を集め、大日活は東活の實演「出征夜話」で石川秀道、大井正夫らで笑はし武村新、川島奈美子の演技が涙をそゝり、南光明、東瀨久義、小笠原隆、岡田靜江、宮城直枝、大内純子らスターの顔を揃へて人氣を煽つてゐる、帝國館は華やかな宣傳戰に美事ヒツトした形で「仇討選手」で笑はしてゐる、また大連劇場には明石潮一座が初御目見得して得意の狂言をならべ演藝界は近來にない華やかなところを見せてゐる

牢獄の花嫁　大日活第二週

阪妻に漸く更生の光がさして來た、しかしその光の大半は吉川英治の原作に負ふところである、勿論阪妻が更生の意氣に燃えて居ることは瞭かに看取されるし監督の沖博史が相當に阪妻を殺したところに從來の阪妻映畫の嫌味が薄くなつて好感が持てる作品を發表し得た事は喜ばしい

たゞ最も大きな缺點は佐々清雄の脚色にある、原作の物語を知らないものには難解なまで運んだことはサスペンスを多分に削り損れた感が深い、それに映畫的進展に缺けてゐることもまた贊成出來ない、もつとガツチリしたコンチユニテイを構成して臨むべきである

主演者の阪妻の一人二役に助演者の鈴木澄子の一人二役は共に後篇に期待すべきで、前篇の終りは一寸「影法師」「紫頭巾」時代を思はす大衆的サスペンスが豐で後篇を期待せしめるに充分である

大連會館で大江美智子の歡迎會

大連會館のサンライズ・フオーリーの岡龍兒が石太プロ出身である關係上目下中央映畫館に出演中の大江美智子一行の舞臺挨拶に應援出演しタイアツプの宣傳をなしつゝあるが、更に大連會館主催中央映畫館後援で來る四日午後五時から大連會館大ホールで歡迎舞踏會を催しステージ挨拶をするが、會費一圓で酒肴及び中央館優待券を呈すると、なほサンライズ・フオーリーでは元旦から午後一時及び同六時から晝夜二回ジヤズダンス「草津節」寺田鶴子、ジヤズソング四條君子、コーラスダンス「ゼニヨリタ」、「鉾をおさめて」澤とし子、「間の拔けたクレオパトラ」を上演してゐる

噂話

正月興行の宣傳に物凄い馬力をかけてゐた帝國館、元旦早々から花柳界、カフエー方面に▲仇討選手宣傳の同文電報二百餘通を飛ばしてマルで選擧騷ぎのやうに最後の五分間を頑張つた▲トーキー興行では常盤座と映樂館は發聲音響效果の優劣が頻りに話題に上りいろ／＼と評判されてゐる▲ところで新館の映樂館のテケツが生憎に祟られて餓れたので▲元帝國館主の林幸四郎氏が「斯ういふ時には素人は役に立たぬ」と玄人の貫録を示して特別出演▲帝國館も亦、テケツの美人が戀愛流行に續々ひろげたので館主夫人が寒風に吹かれてこれまたテケツに特別出演してゐる

けふの放送　大連　JQAK

一月三日午後零時三十分
▲謠曲喜多流囃子「高砂」謠白井晴敏、笛菅原金藏、小鼓菅原蒼枝、大鼓松橋素好、太鼓白井光子
▲三曲「初音」三絃富森大檢校、同上田猛、箏岡田さめ子、同富森祥崧
▲筑前琵琶勅題「曉鷄聲」法颯山橫手旭嶹
▲長唄「初子の日」長唄紫竹會社中、唄杵屋六桊、同お鯉、同喜美勇、三味線音丸、同お葉、同萬作、小鼓小文、同久丸、大鼓樂次、太鼓三千代
▲ニユース
▲午後六時二十分ニユース
以下內地中繼六時三十分
第六回在滿同胞慰安の夕
▲熊本の分未定
▲廣島の分「宮島小唄福山音頭」宮島檢番連中、福山有志連中
▲大阪の分大津繪（一）御國のため（二）忠臣藏（三）豪勇の鑑（四）十二ケ月の頃（五）目出度いづくし、唄大津繪美木太夫、三味線同いし子、同いし福
▲名古屋の分俚謠「名古屋甚句」名古屋猜榮連中
▲仙臺の分未定
▲東京の分合唱、梨本宮妃伊都子殿下御作詞「滿洲派遣軍の上を思ひて」山田耕作謹曲、AK唱歌隊
▲札幌の分俚謠（一）追分節（二）正調松前追分節、唄坂東信子、尺八飯田德十郎、唄今井篁山、尺八工藤豐月
（以下大連放送局より）
▲天氣豫報
▲ニユース

本社特選　新棋戰（其六）

平手香交　香落番
四段△建部和歌夫
三段▲加藤富久

【圖は四二金迄の局面】
▲加藤氏「持駒」銀桂步步
△建部氏「持駒」金步步

△五三と　▲同金
△六二飛成　▲四二銀打
△五六銀　▲六一步
△同龍　▲四四馬
△九二步成　▲八八飛成
△六八步　▲一五步

【土居八段講評】△建部君は兵力が薄い爲攻勢を執るに難く九二步成と指して桂取りに行つたのは些か手緩い感じもするが局面上己むを得ない▲加藤君は敵の右翼が嚴重で直接攻勢を執るに難く一五步と突きた翼より玉頭を狙つたのは良い方法である。

【萩原六段解說】上手五三とは角のと金を捨てるのは惜しいが飛車の活用を圖る爲めで已むを得ないのである。愚圖々々して敵に八八飛と成られては飛車の活用を封じられる恐れがあるので五三と、と指したのである。下手の六一步は敵龍の利きを弱める意味に打つたので、又之れは七六角に當てられた時九四角と引いて先手になる順があるのでよい手である。下手の四四馬は持桂を利用して端を窺つて順當である。四六馬と指しては四七銀と引かれて敵玉が强固にすることになつて面白くない。下手一五步は四四馬よりの豫定の行動であるが、この局面で端を攻めたのは適切な攻め手である。

伊達投手　榮冠の蔭に　この涙物語

「都の西北」の凱歌が神宮球場にとどろき、勝利の榮冠が燦として大投手伊達正男の頭上に輝いた瞬間、僕の耳には、すゝり泣きの忍び音が靜かに聞えて來ました。母の聲です。山河幾百里遙く離れた故鄕の家では、燈明ゆらぐ佛前に額づいて愛し我が子の勝利を祈つてゐた母のそれです。この血と涙の「母性愛」こそ、今日の伊達正男あらしめたのです。榮冠の蔭にかくれた母堂二十年の苦心物語をお讀み下さい。婦人世界新年號に載つてゐます。

松竹スター　八雲惠美子の巫子生活

今を時めく蒲田の八雲惠美子もその昔純情を紅蔽ゆる緋の袴に包んで、神へ處女を捧げつつ嚴かに舞つた巫子でありました。戀は知つても知つてはならぬ、よし愛し愛されるとも觸れてはならぬ、きびしい掟の下に、儚い情炎は燃え上ります。今巫女は立派な映畫人として地方へ派出さるるやうになりました。この神都奈良京都を中心とした、艷麗限りなき處女の乙女の生活と其ローマンスを婦人世界新年號誌上にお讀み下さい。

賀正

開原

小川卓馬　慶德敏夫　高谷大二郎　中野常春　吉村由太郎　平岡雄吉　大隈勘次郎　芦澤吉雄　市瀨亮　千々和正彥　大津鎌武　大橋芳彥　加藤三吉　川島定兵衛　上郡光效　前田信二　相良禮三　佐竹令信　關野芳造
青年聯盟開原支部長　佐藤正親
開原青年團長　安藤俊雄
開原金融組合　電話二九三番

朝鮮銀行開原支店
橫濱正金銀行開原支店
滿洲銀行開原支店
正隆銀行開原支店
開原取引所信託株式會社
開原電氣株式會社　電話一一〇番
合名會社　開原屠獸場　電話三〇一番
開原市場株式會社　電話三二番
國際運輸株式會社　開原出張所　電話三〇九番
精米業　開原公司　電話三八三番
二葉館　電話三二八番

賀正

鐵嶺・普蘭店・本溪湖

鐵嶺

石塚邦器
市川薫
萩尾開造
長谷川收
馬場音次
德本延藏
吉浦豊
梁載沃
旅行中に付缺禮仕候 永田平介
小野健治
上片平直輔
岡山武治
前田鉞雄
松崎義造
小平誠
青木昴
紀藤義也
三森七郎
下山恭次郎

末廣榮二

鐵嶺領事館員一同

鐵嶺尋常高等小學校職員一同

鐵嶺地方事務所 大澤善藏 古館尚也 久永重男
日語學堂 山田豊
普通學校 大西菊治

鐵嶺滿鐵醫院 前田翠 植島秀人 成瀬俊夫 脇猷七郎 脇政助 松岡市兵衛

鐵嶺郵便局 羽生實 松山榮吉 小林房太郎 黑瀬慶爾

株式會社 日華銀行

株式會社 大矢組

鐵嶺電燈局

旭號 小山仙次

滿鐵石炭販賣 怡信洋行 怡泰號 三盛商會

松島町 永清寫眞館 電話三四四番

居留地 カフエー精養軒 電話五三一番

滿鐵陸軍指定御旅館 松花ホテル 鐵嶺中央通 電話四一〇番

松島町 和洋雜貨 藝陽商行 電話三二一番

居留地 御料理 叶家 電話四五七番

居留地 御料理 由良之助 電話四五六番

驛前 食道樂 若竹 電話四二三番

御料理 鐵嶺ホテル 電話三二九番

食道樂 喜良久 電話五四九番

居留地 御料理 萬安 電話三四九番

松田興行部

滿洲日報 書籍文房具 大和屋 電話四四四番

陸軍御用達 安宅商會 電話六〇七番

松島町 和洋雜貨 鹽田洋行 電話三五八番

普蘭店

普蘭店民政署長 江口親憲 外職員一同

普蘭店警察署長 牧田太猪藏
警務主任 峰島新
保安主任 中條助
司法主任 松葉治郎

普蘭店金融組合理事 鹽澤角兵衛 電話一七番

大日本鹽業株式會社普蘭店出張所長 永井重藏 電話三七番

日本赤十字社普蘭店委員支部 今泉牛五郎

普蘭店公學堂長 石本勝之十

普蘭店驛長 玉谷保次郎

普蘭店海關 三宅貞俊

普蘭店郵便局長 山中數雄

伊藤醫院 電話一一二番

普蘭店果樹協會

果樹園 藥種商 平樂寺十藏 電話一一五番

土木建築請負 新谷健二 電話四一番

朝日食堂 電話一五番

落花生及特產商 合資會社 大澤商店 電話一〇番

普蘭店 大森食堂支店 電話七三番

和泉介辨所 電話八番

代書業 狩野一二 電話[illegible]番

代書業 東清號 電話七五番

代書業 富盛號 電話三八番

代書業 成文號 電話四番

產婆 柳川あや

南滿洲電氣株式會社普蘭店變電所 豊川修市 電話五八番

煉瓦製造販賣 松田泉

松山旅館 日用雜貨 石丸十作 電話七番

滿洲日報販賣店 橘商店 電話一一七番

滿洲日報販賣店 松崎組 電話九番

普蘭店 滿日支局 電話四番

本溪湖

石河驛長 鈴木松太郎

花崗石 川砂 石河共同組

三十里堡果樹組合 電話七番

普蘭店郵便局三十里堡出張所 主任 椎名隆治

普蘭店自動車公司 和泉研 王貴臣 電話一三番

本溪湖煤鐵公司

板津直純
大岩銀象
尾崎重樹
梶山又吉
田城作之
植田德次
野尻虎
小平一
天羽順治
鮫島宗平
佐藤良治
日高長次郎
平石常造
(いろは順)